

# 国際研究集会の御案内

東京大学史料編纂所では、ロシアに所在する日本関係史料の系統的な調査・研究と収集に力を入れ、現地の研究機関と協力して国際研究集会や共同研究に取り組んでいます。今回の研究集会ではロシアの旧都サンクトペテルブルク市から三人の研究者を招聘し、ロシア史料に基づいた報告をお願いしました。1960年代末、核戦争を恐れた旧ソ連がシベリアへ40年間疎開させた帝政ロシアの貴重史料群（書架4km分）についてなど、興味深いお話がうかがえるものと思います。多くの方のご参加を呼びかけます。

## 日露関係史料をめぐる国際研究集会

日時:2012年5月21日(月)、14:00~17:00

会場:東京大学史料編纂所(大会議室)

### ▼報告1: セルゲイ・チェルニャフスキー館長

(ロシア国立海軍文書館)

「ロシア国立海軍文書館史料にみられる  
海軍専門用語について」

### ▼報告2: アレクサンドル・ソコロフ館長

(ロシア国立歴史文書館)

「ヤルトロフスク市保存ファンド保管センター  
から返還されたロシア国立歴史文書館史料について」

### ▼報告3: ワジム・クリモフ上級研究員

(ロシア科学アカデミー東洋古籍文献研究所)

「1862年の日本使節団—ドイツからロシアへの旅」

※ 終了後、レセプションを予定。



## 主催/日本学士院・ 東京大学史料編纂所

連絡先: 科研事務局 03-5841-8411

科学研究費補助金基盤研究(A)「ロシア・中国を中心とする在外日本関係史料の調査・分析と研究資源化の研究」(研究代表者: 保谷徹)

※本集会は日本学士院による日本関係未刊行史料調査事業(国際学士院連合関連事業)の一環として行われます。

史料編纂所大会議室(会場は研究所の向かい側の建物、地下1階です。)

